



本市の平成28年度当初予算が3月定例市議会でも決まりました。総額は過去最大の3,898億6,603万円。一般会計も過去最大の1,810億円で、前年度に比べ0.89%の増となっています。公約の実現はもとより、本格的に始動する地方創生や第6次総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、現地・現場、市民一人一人の声を大切に、笑顔の先にある「幸せ」を市民が実感できるまちづくりに向けた予算編成となっています。(2~4面に関連記事)

平成28年度当初予算
総額 **3,898億6,603万円**
「幸せ実感」「地方創生」に注力

一般会計

【歳出】歳出の主なものは、民生費の約905億円(対前年度比9.5%増)がトップで、子ども・子育て支援新制度に基づき、私立認可保育所の運営にかかる費用給付など子育て支援の環境整備や障がい児通所支援、居宅介護サービスおよび就労支援といった障がい福祉サービスの充実に取り組みます。次いで土木費の約167億円(同5.38%減)、公債費が約164億円(同0.67%減)などとなっています。

【歳入】歳入の主なものは、市税が620億円(前年同)で、次いで国庫支出金の約394億円(同3.82%増)、地方交付税が200億円(同4.76%減)と続いています。

特別会計

特別会計の主なものは、国保会計が約638億円、介護保険会計が約456億円、競

当初予算の内訳

区分	予算額	対前年度比	
		増減額	伸び率
一般会計	1,810億円	16億円	0.89%
特別会計	1,377億8,820万円	43億4,060万円	3.25%
企業会計	512億4,693万円	24億1,202万円	4.94%
合計	3,700億3,513万円	83億5,262万円	2.31%
公債管理会計	198億3,090万円	8億8,440万円	4.67%
総額	3,898億6,603万円	92億3,702万円	2.43%

企業会計

企業会計では、下水道会計が約324億円、水道会計が約160億円、工業用水道会計が約24億円、簡易水道会計が約4億円となっています。

市長所信表明(要旨)

国が見込むほどの市税収入の伸びが期待できない中で、社会保障関係経費や公共施設の耐震化・更新に加え、地方創生に向けた取り組みなど、財政需要の増大が避けられず、本市でも一層厳しい財政運営を覚悟しなければなりません。

しかし、こうした状況でも、「知恵」と「工夫」、そして、常に前向きに「挑む」気持ちを忘れてはならないと思っています。そして「一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 まつやま」をキャッチフレーズに、「アクセス(市民に近い)」「アクトタイプ(現地現場)」「アクション(すぐ行動)」をスローガンに、引き続き市政推進に取り組みます。



3月定例市議会でも所信を表明する野市市長

算編成では、持続可能な財政運営に努めながら、人口減少に歯止めをかけるため、「オール松山」体制で対処します。まず、児童クラブ室のさらなる整備をはじめ、不妊治療費の助成や妊婦と産婦へのきめ細かな支援などの「少子化対策」に取り組みます。また、地域おこし協力隊の受け入れをはじめ、首都圏での移住促進イベントやお試し移住に向けた体験滞在型交流施設の整備などの「移住定住対策」にも取り組みます。さらに在宅で働くことを希望する女性への支援強化をはじめ、地場産品の販路開拓や松山圏域で連携しての中小企業商談会など「地域経済活性化策」にも取り組み、これら3つの積極戦略を柱とする「まつやま創生未来プロジェクト」を積極的に推進します。そして、市民の皆さんにお約束している8つの「幸せ実感」をキーワードにした政策と30の「幸約(公約)」に沿った施策の具現化を着実に推進します。

主な内容

- 当初予算関連 2・3・4面
- わが家のリフォーム応援事業申し込み開始..... 5面
- 子規博特別展..... 6面
- 市民ガイド..... 7~11面
- 市職員募集..... 12面